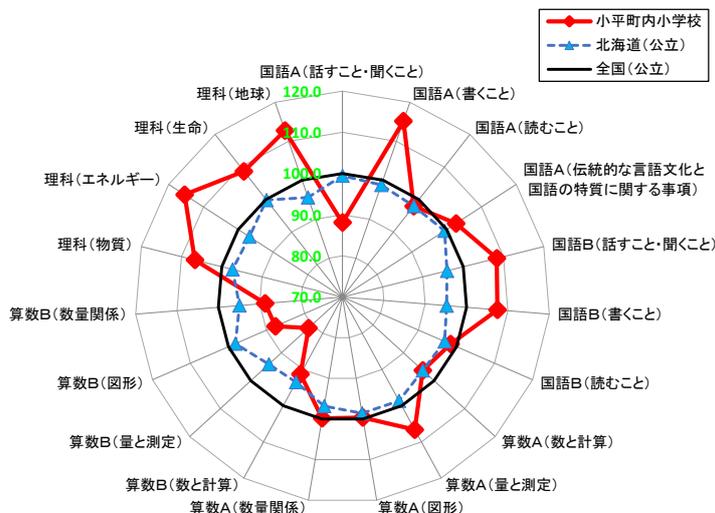


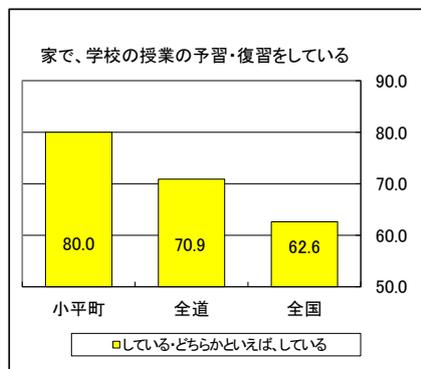
# ■小平町内小学校の状況及び学力向上策(学校数:2校、児童数:20人)

## 【教科全体の状況】

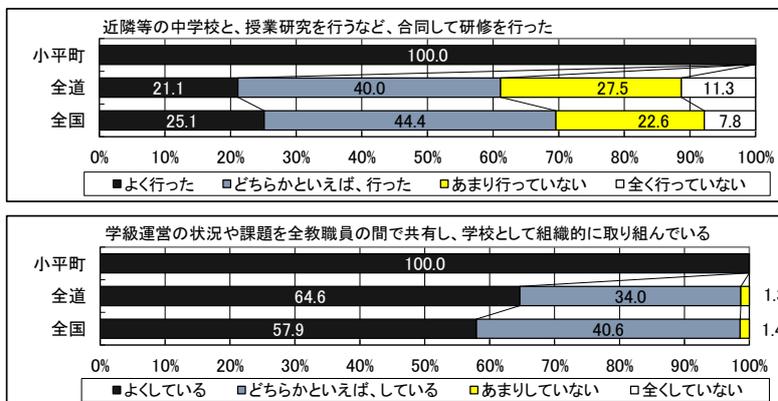
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
(市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【児童質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「書くこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、「話すこと・聞くこと」「書くこと」で全国を上回っている。</li> <li>○ 算数Aでは、「量と測定」で全国を上回っている。</li> <li>○ 理科では、全ての領域で全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 家庭との連携による児童の学習習慣の確立に向けた取組を学校全体で充実したことにより、学校の授業の予習・復習をする児童の割合が全国及び全道を上回り、学習内容の定着が図られ、国語の4つの領域と理科の全ての領域で全国を上回る成果につながったと考えられる。</li> </ul>
児童質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「家で、学校の授業の予習・復習をしている」と回答した児童の割合が、全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての学校で義務教育9年間の系統性を踏まえた指導計画の作成等に向けた中学校との合同研修を充実するとともに、日常的な指導の工夫・改善を組織的に取り組んだことにより、教職員の指導力が育成され、学校全体の授業改善につながったと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 全ての学校が、「近隣等の中学校と、授業研究を行うなど、合同して研修を行った」「学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる」と回答している。</li> </ul>	

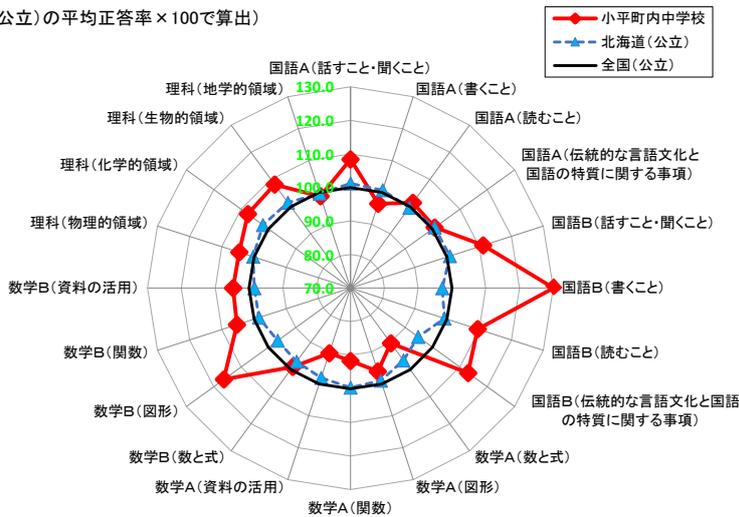
## 【小平町の学力向上策】

- ◎ 小中連携、小中連携による9年間の連続性のある指導カリキュラムの構築
- ◎ 児童生徒の学習意欲を高め、分かりやすい授業や主体的な学びの実現に向けたICT機器の計画的な整備
- ◎ 家庭との連携による学習習慣の確立に向けた取組の推進
- ◎ 第2次小平町読書推進計画に基づく読書に親しむ環境づくりの推進

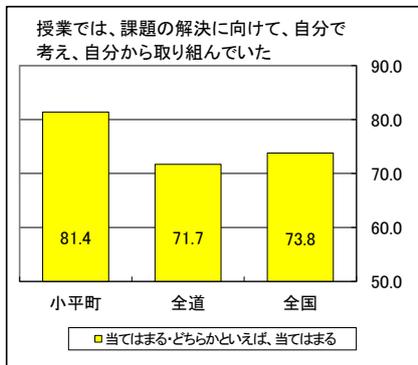
# ■小平町内中学校の状況及び学力向上策(学校数:1校、生徒数:27人)

## 【教科全体の状況】

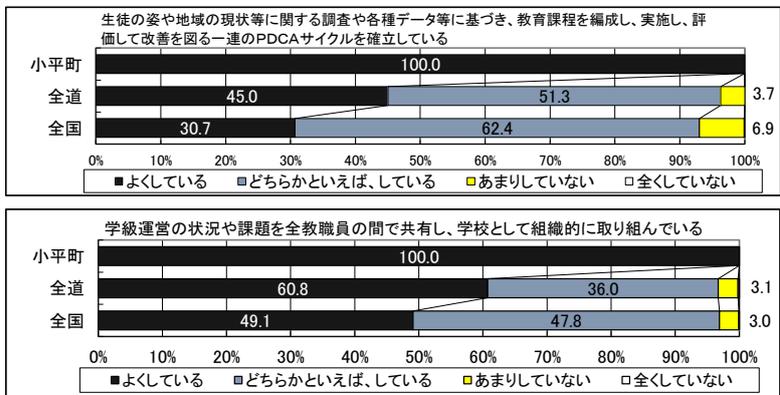
教科の領域別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したもの  
 (市町村の平均正答率÷全国(公立)の平均正答率×100で算出)



## 【生徒質問紙調査】



## 【学校質問紙調査】



## 【分析】

教科	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語Aでは、「話すこと・聞くこと」「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、Bでは、全ての領域で全国を上回っている。</li> <li>○ 数学Bでは、「図形」「関数」「資料の活用」で全国を上回っている。</li> <li>○ 理科では、「物理的領域」「化学的領域」「生物的領域」で全国及び全道を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業において、生徒の興味や関心を高めたり、生徒が課題意識をもって学習に取り組んだりするための指導方法の工夫を行ったことにより、課題解決能力が育成され、国語、数学、理科の多くの領域で全国を上回る成果につながったと考えられる。</li> </ul>
生徒質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 授業では、「課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた」と回答した生徒の割合が、全国を上回っている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 各種データ等に基づいたPDCAサイクルを確立するとともに、各学級の現状や取組を全教職員で共有するなど、組織的な取組を充実したことにより、学校全体で教育活動の質の向上を図ることができたと考えられる。</li> </ul>
学校質問紙	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 生徒の姿や地域の現状等に関する調査や各種データ等に基づき、教育課程を編成し、実施し、評価して改善を図る一連のPDCAサイクルを確立している。</li> <li>○ 学級運営の状況や課題を全教職員の間で共有し、学校として組織的に取り組んでいる。</li> </ul>	

## 【小平町の学力向上策】

- ◎ 小中連携、小中連携による9年間の連続性のある指導カリキュラムの構築
- ◎ 児童生徒の学習意欲を高め、分かりやすい授業や主体的な学びの実現に向けたICT機器の計画的な整備
- ◎ 家庭との連携による学習習慣の確立に向けた取組の推進
- ◎ 第2次小平町読書推進計画に基づく読書に親しむ環境づくりの推進